

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5001	(H.22)No.	5001
-----------	------	-----------	------

事務事業名		財産管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
総務部		管財室		森嶋 和宏	63-7336
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	4	行政資源の有効活用
	重点施策コード	5-1.財政健全化の実現	

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	022001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	財産管理費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	財産管理費	財産管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
市有財産維持管理事業(普通財産の管理)	

めざす効果(事業目的)
普通財産の効率・効果的な管理と新たな財源の確保を図るため、財産の活用や処分等について検討を進めます。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・市有財産維持管理経費(庁舎除く)4,613千円 ・八幡工業団地管理センター空調設備改修工事2,838千円 ・その他経費130千円	・市有財産維持管理経費(庁舎除く)4,291千円 ・その他経費130千円	補助金・交付金	その他 ( )	
直接事業費	7,581千円	4,421千円	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
財源内訳(千円)			4,400千円	4,400千円	4,400千円
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他( )	146	278	130	130	130
一般財源	(0) 7,435	4,143	4,270	4,270	4,270
人工数					
職員	0.87人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
臨時職員等		0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
概算人件費	(0千円) 6,351千円	5,433千円	5,433千円	5,433千円	5,433千円
+ 総事業費	(0千円) 13,932千円	9,854千円	9,833千円	9,833千円	9,833千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	6	7	9	11
	実績		5	5	8		
活動指標	目標	千円	-	104,397	164,397	232,397	308,397
	実績		52,397	103,851	182,945		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
未利用地となっている財産について、市有地販売紹介料支払い制度の導入や自治体オークションへの掲載などにより推進しているが、維持管理費の削減も含め今後さらに処分方法について検討を進めていく必要がある。	特になし

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 情報提供・情報交換	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 民間事業者への貸付や売却などによる活用方針の見直しを行い、引き続き推進する。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5002	(H.22)No.	5002
-----------	------	-----------	------

事務事業名		自動車管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
総務部	管財室	森嶋 和宏	63-7336
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	2	事務事業の効率化
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	022201
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	自動車管理	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	財産管理費	自動車管理	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
庁用車両維持管理事業	庁用車両の適正管理と効率、効果的な運用

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁用車両の燃料及び修繕(需用費) 12,873千円</li> <li>・庁用車両の保険料等経費(役務費) 2,187千円</li> <li>・マイクロバス運転業務委託(委託料) 620千円</li> <li>・自動車借上げ(賃借料) 6,732千円</li> <li>・その他経費 467千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁用車両の燃料及び修繕(需用費) 10,232千円</li> <li>・庁用車両の保険料等経費(役務費) 2,217千円</li> <li>・マイクロバス運転業務委託(委託料) 700千円</li> <li>・自動車借上げ(賃借料) 11,729千円</li> <li>・その他経費 945千円</li> </ul>	補助金・交付金	その他 ( )		
直接事業費	22,879千円	25,823千円	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	
財源内訳(千円)			25,800千円	25,800千円	25,800千円	
国庫支出金						
県支出金	35	34				
地方債						
その他( )	957	649				
一般財源	(0) 21,887	25,140	25,800	25,800	25,800	
人工数						
職員	0.93人	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人	
臨時職員等	0.13人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	
概算人件費	(0千円) 7,010千円	7,258千円	7,258千円	7,258千円	7,258千円	
+ 総事業費	(0千円) 29,889千円	33,081千円	33,058千円	33,058千円	33,058千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	ハイブリッド車及び低公害車の導入台数	台			5	6
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
自動車1台あたりの燃費は年々削減されてきているが、さらに地球環境問題を考慮したCO2排出量の削減が求められている。	特になし

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	ハイブリット車や低公害車の導入
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	環境対策の所管とのさらなる連携により燃料消費の削減と効率的な運行を進める。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・効率的な車両運行を行うため、車両の配置方法や管理方法などを再検討する必要がある。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・効率的な車両運行を行うため、車両の配置方法や管理方法などを再検討する必要がある。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5003	(H.22)No.	5003
-----------	------	-----------	------

事務事業名		庁舎管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
総務部		管財室		森嶋 和宏	63-7336
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	4	行政資源の有効活用
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	022101
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	庁舎管理費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	財産管理費	庁舎管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
庁舎維持管理事業	

めざす効果(事業目的)
庁舎適正維持管理

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
主な事業の実績・計画	< H.21繰越分 > ・地域活性化、きめ細やかな臨時交付金事業(庁舎施設等営繕工事)2,342千円		・庁舎管理用光熱水費等 31,725千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
	< H.22現年分 > ・庁舎管理用光熱水費等 30,770千円 ・電話料、損害保険等役務費 8,850千円 ・庁舎保守管理等委託料 26,320千円 ・庁舎設備機器等リース料 29,183千円 ・庁舎施設等営繕工事費 6,563千円 ・その他 124千円		・電話料、損害保険等役務費 10,290千円 ・庁舎保守管理等委託料 26,043千円 ・庁舎設備機器等リース料 29,189千円 ・庁舎施設等営繕工事費 1,000千円 ・その他 228千円					
直接事業費	(2,342千円)	101,810千円		98,475千円	105,500千円	105,500千円	105,500千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(2,342)						
	県支出金							
	地方債							
	その他( )		2,019	3,675				
一般財源	(0)	99,791	94,800	105,500	105,500	105,500		
人工数	職員	0.75人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	
	臨時職員等	0.13人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	
概算人件費	(0千円)	5,696千円	5,433千円	5,433千円	5,433千円	5,433千円	5,433千円	
+ 総事業費	(2,342千円)	107,506千円	103,908千円	110,933千円	110,933千円	110,933千円	110,933千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	kWh			1,345,022	1,318,000	1,292,000
庁舎の年間電気使用料							
活動指標	目標 実績	m <sup>3</sup>			9,073	8,850	8,700
庁舎の年間水道使用料							
活動指標	目標 実績	m <sup>3</sup>			42,379	41,500	40,600
庁舎の年間ガス使用料							
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎設備の老朽化による修繕、改修などを含めた維持管理経費の増加が予想される。</li> <li>・行政財産の目的外使用にかかる使用料徴収について条例整備を行う必要がある。</li> </ul>	特になし

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	適切な維持管理と改修時期の見極め
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	国、県等の施策を積極的に活用
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	職員の意識改革と工夫

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text" value="継続(事務改善)"/>	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境対策の部署との連携により維持管理経費の節減に取り組む</li> <li>・効率、効果的な施設の維持管理と改修時期の見極めを行い改修経費の削減を図る</li> </ul>	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境対策の部署との連携により維持管理経費の節減に取り組む</li> <li>・効率、効果的な施設の維持管理と改修時期の見極めを行い改修経費の削減を図る</li> </ul>	